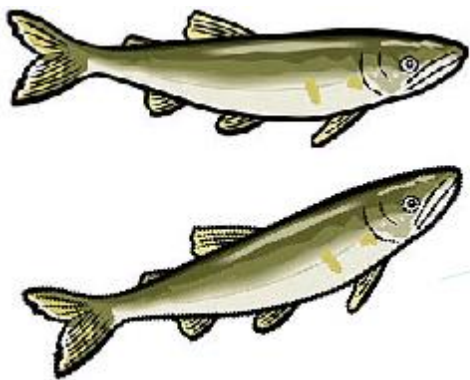




アユ情報

第21号

2025年7月29日
栃木県水産試験場

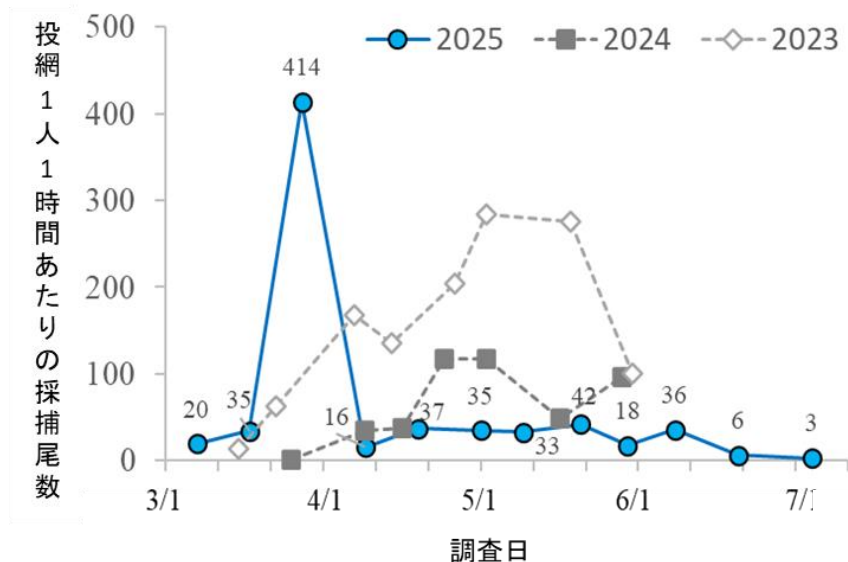
那珂川の遡上調査

- ・那珂川茂木地区における今期のアユ遡上調査が終了しました。
調査結果は下記の通りとなりました。

【今年の傾向】

- ・早期遡上（4/15までの遡上）が平年の3.1倍⇒解禁当初から大型のアユが釣獲
- ・遡上期間が長期化（3月下旬～6月）⇒今後ふ化日組成を調査

① 投網による採捕調査



3/7 初観測の天然遡上アユ (平均全長 10.1cm)



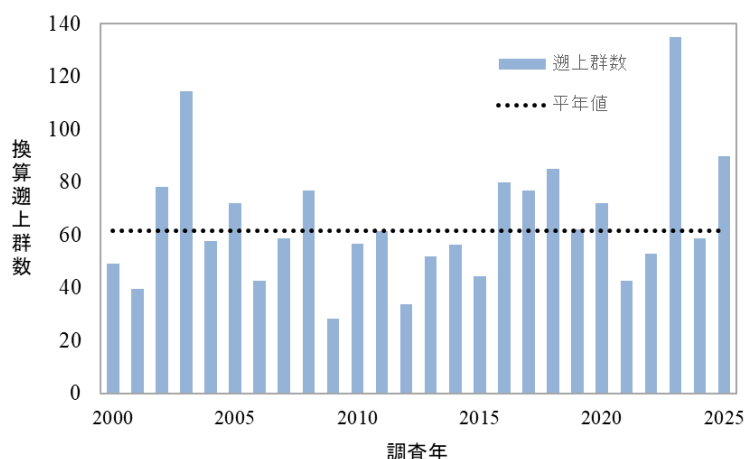
7/2 採捕の約 7cm の晚期遡上アユ

- ・今年は3月7日に初めて遡上アユが確認され、観測史上最も早い遡上確認となりました。
また、投網1人1時間あたりの採捕尾数は3月下旬がピークとなりました。
一方で、7月2日の調査でも約7cmの小さな晚期遡上アユが採捕され、遡上期間が長期化する傾向がみられました。

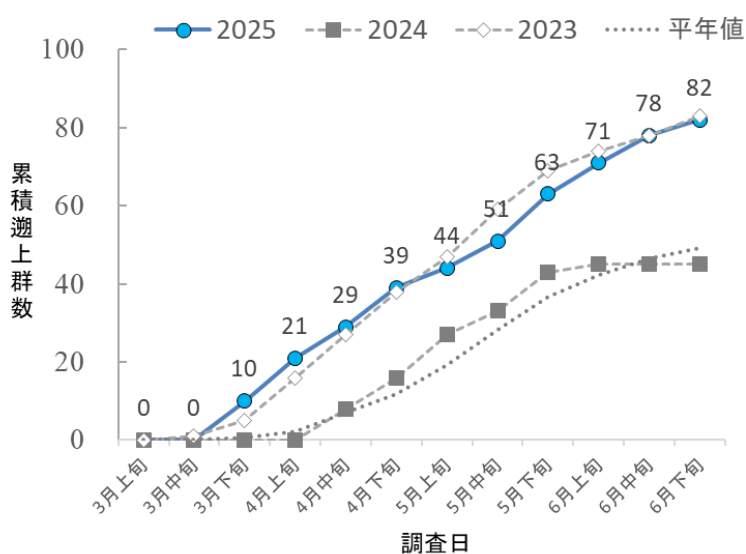
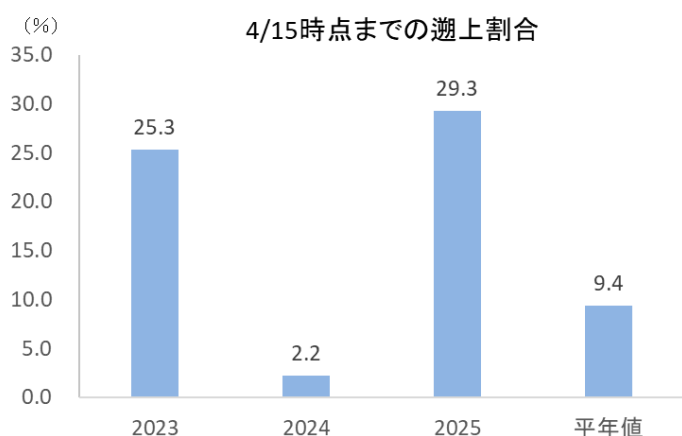
栃木県水産試験場
公式Instagram
始動しました！！



② 遡上群の観察調査



※1. 帯状の群れは、だんご状の群れ×1.8倍で換算



※2. 日ごとの遡上群数の累積値

- ・ 茂木地区の調査員が3月から6月の間、2地点においてアユの遡上群数の調査を毎日行いました。

※1
換算遡上群数は平年値を上回り、2000年以降では3番目に多い値となりました。

- ・ 投網による採捕調査の結果と同様に3月下旬から早期の遡上アユが多く確認され、4月15日までの遡上が全体の29.3% (平年値9.4%)に達しました。

この早期遡上が多かったことが、解禁当初から大型のアユが釣れる結果に繋がったと考えられます。

- ・ 累積の遡上群数の推移は、2023年と同様に平年より早い3月下旬から多くの遡上を確認され、遡上のピークを過ぎた6月も増え続けており、遡上期間が長期化する傾向がみられました。

一方で、前年は平年値と概ね同水準となり、主な遡上時期は4月から5月でした。

今後はこうしたアユがいつ生まれたのか調査を進め、漁期の見直しなど那珂川のアユにとって最も適切な資源管理策を検討していきます。

栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>